

地域とともにある学校

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2020/06/05 (金) 発行

校長通信 NO 3

北海道日高高等学校
谷 尊 仁

魅力ある学校づくりを目指して

学校正常化への兆し

先週木曜日から毎朝 9 時 30 分頃から勇ましい太鼓の音が聞こえてきます。町の産業学習の授業で「山岳太鼓」の練習をしている音です。

今年赴任したばかりの私は、「雷?」「自衛隊の演習での砲撃の音?」何の音だろうと考えながら耳を澄ませて聞いていると、そのリズムカルな音色で太鼓の音だと気付きました。

やっと産業学習の授業も正常に始まり、学校でも通常の 4 時間授業を実施できるようになりました。



生徒全員のマスク着用と手指の消毒。ソーシャル・ディスタンスを考慮した机の配置。授業の合間での教室の換気。授業が終わり生徒が下校した 21 時 30 分頃から先生方が総出で、毎日校舎内の消毒作業を行うなど、感染防止の取組をした中での学校生活です。



学校行事も中止せざるを得ない状況と部活動もまだ再開できていませんが、それでも何とか「学校」を取り戻しつつあります。

夜の校舎で生徒達の元気な姿が見られて、元気な声が聞こえる状況は、やっと正常な学校を取り戻せてきているなぁと実感しています。

今後とも新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分配慮しながら、生徒が安全に安心して学校生活を続けられるように、できる限りのことを先生方と協力をしていきたいと思っています。

この 2 ヶ月、授業も年度当初の計画通りには実施できておりませんが、生徒に必要な学力を育むために、先生方は色々な努力と工夫をしてくれています。



生徒達・教職員の過度な負担にならないように注意しながら、生徒達の将来に向けて最大限できることに取り組んでいきたいと思っています。



1 年生も少し日高の生活（寮や学校の生活）にも慣れてきたようで、それぞれの個性が目立つようになってきています。本校の教育目標「自律する人間」「共創する人間」「錬磨する人間」に成長してくれることを願っています。

新北海道スタイルの継続を

本校の寮生活でも、6 月に入り新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う規制が緩和され外出などが今までよりも自由となりました。

しかし、「3 密を避ける」「手洗い・手指消毒の徹底」「マスクの着用」など感染防止の対策は、それぞれが責任を持って実行していかなければなりません。

自分の身を守ることを第一に行動することが、周りの大切な人だけではなく、地域全体の人たちを守ることになります。

色々なことが、段階的に緩和され感染拡大前の生活に戻りつつありますが、気を緩めてはいけません。新型コロナウイルスが無くなったわけではなく、感染のリスクが消えたわけではありません。

再度、感染者数が増えたら、今までのように生活全体に規制がかかり、また、それぞれが我慢をする不自由な生活に戻ってしまいます。

来週から、産業学習の協力を得て遅れた学習活動を取り戻すために、当面の間、月・水・金を 5 時間授業で実施します。

町教委の方や先生方に負担をかけることになりましたが、生徒の将来のために頑張ります。

